

長尾福祉会報

平成25年10月1日

第28号



ゆたか荘 納涼夏祭り (8月24日)



—長尾福祉会理念—

障害をもっているも もっていないも 男も女も

「生まれておめでとう・成長しておめでとう・長生きしておめでとう」といえる

社会づくりをめざします。

もくじ

●ゆたか荘

敬老会	2
納涼夏祭り	2
健康にすごせる毎日を	2
夢をかなえる個別対応と地域交流	3
外出の繋がりがその人らしさへ	3
防災委員会発足によせて	3

●デイサービスセンターゆたか

行事を通じて	4
--------	---

●ハーティヴィラ亀鶴

一周年に際して	5
ショートステイでの生活風景	5
デイサービスでのレクリエーション	5

●のぞみ園

のぞみ児童デイサービス事業所	6
しょうぶ祭り	6
男子寮清掃活動	6
スポーツレクリエーション大会	6
保護者の一言	7
合同余暇	7
開園記念日	7
女子寮いちご狩り	7

財務報告	8
ご支援ありがとうございました	8
職員研修旅行に参加して	8
編集後記	8

ゆたか荘

敬老会

介護サービスステーション 富田 香里

九月十五日、高齢者のご長寿を祝う敬老会と平成二十五年度第二回家族会を同時開催いたしました。

相撲番付表にならない、ゆたか荘でも「長寿番付表」を作成し、横綱の利用者様より順に紹介させていただきました。ゆたか荘では、今年百寿を迎えられる方を含め百歳以上が六名おられ、最高齢者は百五歳でなんとさぬき市の男性では一番の「長寿」です。また、今年百歳の利用者様は百寿（ももじゆ）としてご家族様より桃色のちゃんちゃんこをご準備頂き、着用して参加して頂きました。

今年は百寿・米寿・喜寿の方々に記念として色紙、また百歳以上の方々には鶴・亀の置物をお贈りさせて頂き、大変喜んでくださったと思います。また、さぬき民俗芸能保存会様による傘踊りや銭太鼓で敬老会を盛り上げてくださり、利用者様・ご家族様はもちろん職員も一緒に楽しませて頂きました。おやつにはご家族様・利用者様と共に敬老の日のお祝い饅頭を一緒に召し上がっておられました。



これからも利用者様が健康で長生きされ、心豊かな生活が送れますように努めて参りたいと思います。皆様ご長寿おめでとございます。

職員紹介

納涼夏祭り

介護サービスステーション 藤重 賢吾

ゆたか荘夏の一大イベントである納涼夏祭りを八月二十四日に開催いたしました。「県立三木高等学校吹奏楽部様」、「すみれ保育園様」、「長尾民踊同好会様」等、近隣の方々にはイベントアトラクションとして、そして同じく県立三木高等学校や四国医療福祉専門学校生徒さんにボランティアとして協力頂き、参加された方の笑顔溢れる納涼夏祭りを盛大に開催することができました。

県立三木高等学校吹奏楽部様は、今年も県コンクールで金賞を受賞されており、メンバーの絆の強さが感じられる演奏は、会場に一体感をもたらしてくれました。すみれ保育園様は、可愛い園児達が小さい体ながらも、ハリのある元気な声で歌を歌ってくれ、また、リズムの良い力いっぱい太鼓演奏を披露して頂き、可愛らしさと迫力ある演奏に目を奪われました。長尾民踊同好会様は、夏祭りらしい曲に合わせて、華麗な演舞を披露してくださいました。クライマックスには職員を含め、来荘されている会場の方も一緒に踊りに参加できるシナリオとしてくださり、見る人も楽しめる全員参加型のアトラクションでした。

私個人としては、入社して初めて納涼夏祭りに参加し、かつ司会業まで担当させていただきました。何か盛り上げなくてはと、女装姿で司会をしましたが、そのような姿で人前に出たり、司会自体が初めてのことで、緊張や不安もありました。しかし、ご来荘されたお客様へ利用者様から「司会長良かったよ」「身体は大きいけど綺麗だよ」と言ってもらって頂き、会話を、写真を一緒に撮ることができたことで、楽しい納涼夏祭りに貢献できたと感じています。来荘された方々の笑顔が溢れ、いつもとは違った雰囲気味わうことができました。

これからも、ゆたか荘では皆様に楽しかった「来て良かった」と感じて頂けるようなイベント開催や常日頃の関わりに努めていきたいと思っています。

健康にすごせる毎日を

ゆたか荘に勤め始めて、早六年の月日が経とうとしています。ゆたか荘に配属になるまでは病院勤めしかたことがなく、初めてゆたか荘に足を踏み入れた時は、病院業務の中での医療と、介護現場における医療との業務の違いに大きな衝撃を受けたのを今でも覚えています。業務に追われる毎日の中で「このままここで勤めていけるのか」という不安が絶えず私の脳裏に過りましたが、先輩看護師の指導のもと現在まで医療職員の一人として業務に勤めています。

特別養護老人ホームであるゆたか荘は、病院とは違い高度な医療的ニーズを求められることが少ない傾向にあり、身体だけでなく心のケアやゆとりある看護ケアの提供を同時に行える場だったので、月日が経つにつれ高齢化社会が進み、私がゆたか荘に配属になった時期に比べてみても、施設を利用されている利用者様の中でも高齢化・重症化が進んできており、ゆとりあるケアの実施「を行う事が困難になりつつある現状になってきています。その中で、最期までここで過ごさせてよかった」と利用者様と、そのご家族様に思っ

医療主任 中村 直美



夢をかなえる個別対応と地域交流

地域施設連携係主任 新開 正義

介護保険施設において、身体拘束は禁止されており、当施設においても御利用者の生活の質(QOL)を損なう危険性、身体機能の低下や人としての尊厳を奪う恐れがあるため、環境・人といったあらゆる面から拘束を行わない方針のもと取組を行っております。職員の念頭には常に、「施設を利用すること自体が拘束とならないよう、出来る限り幅の広いサービスを展開しよう」という想いがあります。福祉業界に関わりがない知人と介護保険施設について話をすると、決まって施設は終の棲家で、外出の機会が少ない等のイメージがあると話される。そのイメージを払拭する役割が我々福祉に携わる職員にあり、実際、地域に向けた啓発活動に努めることも、施設御利用者に対しても、個別の希望に沿った外出支援を行うようにしております。

啓発活動に関しては、すぐに結果が出るものではなく、小さな積み重ねで地域福祉の充実が図ればと各種団体様との交流や地域行事への参加、小学校又は自治会単位での関わりを行っております。希望に沿った外出については、普段の関わり(コミュニケーション)から出たニーズをもとに、生活歴などを参考に「家族と相談し、外出に出掛け、共に過ごす時間を持つよう」にしています。行きたいけど行くこと(外出すること)が出来ない、連れて行ってあげたいけどあげられない等と思いがあつた御利用者と御家族の夢が叶った際の表情、それを見ると、日々の関わりを更に深めようと思いが湧いてきます。

施設を利用することで、さらに人生を深めていけるような幅のある関わりを、今後も実施していきたいと思っております。



外出の繋がりがその人らしさへ

介護サービスステーション 主任 渡辺 伸一

前年度から引き続き毎月外出機会を持ち、利用者様に買い物や外食などを楽しんで頂いております。外出された利用者様からは「気分転換になった。」「楽しかったから、また連れてってな。」という声が聴かれ、私達も利用者様の表情、外出を一緒に楽しむことで、自然と笑顔も増え元気をもらっております。

その他にも外出が担う大きな役割として、社会・地域との繋がりがあり、施設利用する中でも外で良い刺激を受けて、その人らしい日々の暮らしに繋がっています。

外出の際、ご家族様のご協力はもちろんのこと、地域の方々にも支えて頂き、ありがとうございます。今後も利用者様が楽しんで頂けるよう、日々精進してまいりますので、よろしくお願い申し上げます。



防災委員会発足によせて

事務主任 宮下 和孝

東日本大震災から、早いもので二年半が経過しました。しかし復興がなかなか進まず、いまだ多くの方が避難生活を余儀なくされています。津波で家が流され、さらに原発災害まで加わり、多くの人が住み慣れた故郷を追われています。生活の場である福祉施設で、もしこういった災害が襲ってきたら、どうなるでしょうか。

今までゆたか荘では、火災想定避難訓練は二ヶ月毎、土砂災害想定避難訓練は年一回行ってきましたが、将来起こるであろう南海・東南海地震や、豪雨による土砂災害等にも備え、万全の体制を取っておく必要があります。そういったことで、遅ればせながら今年度から防災委員会を新規に立ち上げ、定期的な会を持ち、備蓄品の整備、施設の点検、地震災害に対応した避難訓練も実施しています。

しかしながら、避難訓練をしているから大丈夫という考えは捨てるべきであり、想定外の出来事いかに柔軟に対応していくかが、今後のポイントになってきます。

我々は、万が一の際の被害を最小限に食い止めるため、防災に関する意識をより高く持つ必要があります。皆さんが安心して生活を送れるよう、日々努力していきたいと思っております。





デイサービスセンター ゆたか

行事を通じて

所長 矢野 勝久

暑さ真つ只中の八月、デイサービスの夏祭りを開催致しました。

おかげさまで年々参加者も増え、今年も大勢のご参加を頂くことができました。演目として、例年お願いしているまい堂衆の皆様によるよさこい踊りさめきニコニコ倶楽部の皆様によるフラダンスの披露で会場大いに盛り上がりました。最後に職員による拙い阿波踊りをお見せし、大成功のなか第四回も終わることができました。

今回、家族様のご参加も多く、普段見る機会が少ないデイサービス内の様子や雰囲気、又、職員を知って頂く良い機会となりました。

秋には遠足行事も予定しておりますが、行事を通じて利用者の方、家族の方とのより良い信頼構築に向けて取り組んでいきたいと思っております。

今後ともご指導、ご鞭撻の程、よろしくお願い致します。



事業所の紹介

デイサービスセンター ゆたか

要支援から要介護の方を対象に食事・入浴・機能訓練のサービスが受けられます。

事業内容／●通所介護事業●介護予防通所介護事業

お問い合わせ／☎0879-23-6515



ハーティヴィラ亀鶴

施設長 森田 浩之

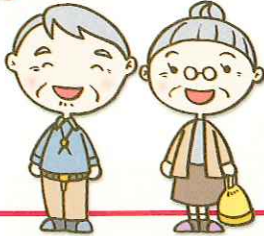
猛烈な暑さの夏が過ぎ、ようやく秋風が冷たく感じるようになってきた今日この頃です。ふと顔を上げて秋空を見ていると一年前の準備で奔走していたことを昨日のように思い出されます。ハーティヴィラ亀鶴もこの十一月一日で一周年を迎えます。ご利用者やスタッフにとっても本当にあつという間の一年ではなかったかと思えます。今では施設も落ち着き、事業所ごとに様々な取り組みを行っています。今回は施設方針と職員心得の紹介とショートステイでの日常的な風景やデイサービスでの行事を合わせてご紹介します。

〈施設基本方針〉

人生の先輩を尊敬しお客様としておもてなしの精神で、その人の状態や嗜好そして信条に配慮した生活をお手伝いする

〈職員心得〉

- 一、尊敬の気持ち
- 二、あいさつ
- 三、笑顔
- 四、言葉づかい
- 五、職員協調
- 六、向上心



ショートステイセンター

生活の中に役割を

ユニットリーダー 木村 真吾

ハーティヴィラ亀鶴では、私達スタッフが利用者様の生活を支援するだけではなく、簡単な作業など、できる範囲の事をお願いし、共に行っています。食後の食器を洗ったり、洗濯物を取り込みたたんだり、作業中は会話をしながら楽しそうに行われています。

利用者の方からも「手伝える事は言ってみてね。」とおっしゃって頂け、「お願いします。」「ありがとございまして。」の言葉に、充実感ある何とも言えない笑顔を見せて下さいます。

「自分の事は自分でしたい」「人の役に立ちたい」との思いはいつまでも強く、ユニットケアの理念の一つである『自宅からの生活の継続』を実現していけるよう、一人一人の意志を尊重しながら、これからもその人らしい生活の場となるよう支援を行っていきます。



デイサービスセンター

手作りおやつ

介護職員 渡辺 香織

毎月手作りおやつを実施しています。一時間という限られた時間の中で作れるメニューですが、皆で作ったものを食べるということは特別なものではないでしょうか？

召し上がりながら「卵をもっと泡立てるように混ぜたら良かった」「ちよっと焼きすぎたかも」等、反省会のような会話を楽しみながら最後には「美味しかった」と笑顔がみられています。

その笑顔を原動力にして今後とも、皆様に楽しく過ごしていただけるように努力していきたいと思っています。



秋のドライブ

生活相談員 谷川 敏之

九月中旬、門入ダムへドライブに行ってきました。期間中未だ残暑でしたが、木陰は中秋の仄かな涼しさを感じ取りました。

参加利用者は周りの景色をゆつたりと眺めながら、また、ダムの大さに「うわぁー素晴らしい」と歓喜を表していました。

帰りにダムの周りをゆっくり車中から見ながら「こんな素晴らしい所があったのー本当によかった！」と感動・感激の声を頂きながら、帰路につきました。

今後利用者様に感動を与えることができるドライブを計画して行きたいと思えます。





のぞみ園

のぞみ児童デイサービス事業所 「毎日いきいきのびのび」と

指導員 砂川 玲子

新築移転により四月から再スタートをきった放課後等デイサービス。七月下旬からは夏休みに入り、朝から活気があふれています。日々の活動は、学校から持ち帰った宿題、手指機能向上や生活に繋げる個別療育、体と道具の使い方を身につける動作療育、また終日利用ならではのグループ活動も充実。広々とした園庭での歩行、水遊び、昼食やおやつ作り、夏まつりなどを仲間同士で企画して行うことにより、毎日いきいきのびのびと過ごしています。



つなひぎとたまいわがたのしかったです。
わたしは、へいかいせんげんをしました。
げんきにいえました。
利用者 まつばらゆか

スポーツレクリエーション

六月十一日、ツインバル長尾にてスポーツレクリエーションを行いました。玉入れ、綱引き、借り物競走、リレー等の種目がありました。中でも一番盛り上がったのはリレーでした。利用者の皆さんは、同じチームの走者を元氣いっぱい大きな声で応援していました。
どの種目も、みなさん一生懸命参加し、楽しそうでした。

生活支援員 松井 一朗



しょうぶまつり

就労B型支援員 原田由貴子

毎年、亀鶴公園でしょうぶまつりが開催されます。今年も紫、黄、白などの色とりどりのしょうぶがきれいに咲いていました。公園内を散策しながら、六月という季節を肌で感じることができました。



男子寮清掃活動

生活支援員 原田 大輔

週三回男子寮の利用者三名とのぞみ園のバスや公用車(アルト・ミラ・フレサージユ)を作業棟にて洗っています。車や掃除が好きな方もいらつしやり、暑い中でも意欲的に取り組んでいます。



保護者の一言

小倉 優代

お給料
上がったよ!

彼女は五月より、デイサービスゆたか清掃から和三盆の作業に変わらせて頂きました。お給料も少し上がり、「優香ちゃん、がんばったね」という「ハイ」と言って、「コンビニへ買物に行くのを楽しみにしているようです。

彼女が安定して作業に取り組めるのは、周りが変わることもなく周りに合わせることを強いる風潮から脱却できたから、スタッフが環境を変えてくださったからだと思えます。彼女は言うでしょう。「私は何も変わっていないよ、周りが変わったの」と彼女の笑顔が絶えないようにいつも気を配ってください。スタッフの皆様へ感謝です。ありがとうございます。これからますますよろしくお願いします。



合同余暇

生活支援員 山田 和広

のぞみ園の合同余暇に、恵生園、夢りんごのみなさんをお招きして「七夕まつり」を催しました。会場の、のぞみ園中庭に用意した笹にみなさん思い思いの願いごとを短冊に書き、優しく結んでいました。その後はおやつやプール、水ヨーヨーすくいなどで初夏の日差しの中を元氣いっぱい楽しんでいました。



開園記念日

生活支援員 山石 久

九月三日(火)、十七周年開園記念行事食としての昼食はハンバーガーやポテトなどファーストフードをモチーフとした食事、おやつはチョコレートパフェでした。利用者の方でハンバーガーやパフェが好きな方が多く、美味しそうに食べていました。



いちご狩り

生活支援員 多田 有希

五月十九日〜二十八日の間、六回に分けて観光農園「森のいちご」でいちご狩りを行いました。多くの品種の中から好みのいちごを摘み取り、皆さん満足気に味わっていました。又、園内の動物とのふれあいも楽しむことができました。



いちごがいっぱいありました。大きないちごをちぎって食べました。あまくておいしかったです。また行きたいです。 利用者 長端 節子

財務報告

貸借対照表 (平成25年3月31日現在)

単位：千円 H24.4.1~H25.3.31 資金収支計算書 単位：千円

資産の部		負債の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
流動資産	349,076	流動負債	58,108
現金	729	未払金	14,531
預金	224,485	預り金	7,747
未収金	122,168	仮受金	18,830
立替金	845	引当金	17,000
原材料	72		
仮払金	777		
固定資産	2,023,819	固定負債	392,695
基本財産	1,464,885	設備資金借入金	376,000
建物	1,242,395	退職給与引当金	16,195
土地	222,490	徴収不能引当金	500
その他固定資産	558,934	負債の部合計	450,803
建物	81,081	基本金	166,000
構築物	9,427	国庫補助金等特別積立金	484,502
機械器具備品	62,435	その他積立金	738,315
土地	5,000	次期繰越活動収支差額	533,275
有価証券・積立預金	384,349		
その他	16,642	純資産の部合計	1,922,092
資産の部合計	2,372,895	負債・純資産の部合計	2,372,895

科 目	金 額	科 目	金 額
就労支援収入	8,970	就労支援支出	8,949
		就労支援収支差額①	21
介護保険等収入	456,932	人件費支出	491,089
利用料等収入	8,625	事務費支出	49,131
支援費等収入	256,867	事業費支出	117,201
補助金等収入	18,281	借入金利息	3,949
寄付金収入	200		
利子配当金収入	8,648	経常資金収支差額②	92,442
雑収入	4,259	固定資産取得費支出	587,618
施設整備等補助金収入	21,470	施設整備等収支差額③	▲566,148
有価証券売却収入	15,750	借入償還金支出	42,043
借入金収入	505,000	長期貸付金支出	75,000
積立金取崩収入	75,710	有価証券取得支出	50,620
		財務活動収支差額④	▲428,797
		当期資金収支差額①②③④	44,888
		前期末支払資金残高	352,783
		当期末支払資金残高	307,895

吉川佳子 羽鹿由紀 冬木みす子 井戸正美 あいグループ 奴賀美沙 かねとう歯科 夢立三木高等学校 県立三木高等学校 ひまわり保育園 長尾聖母幼稚園 長尾聖母幼稚園 しのぞみ工局 シルバークン 民謡同好会 すみれ保育園 野崎信夫園 黒河崎信 岡本由美 岡本美子 四国医療福祉専門学校ボランティア 県立三木高等学校ボランティア 筒井川仁美 寒井綺果 植村純也 坪井琳花 吹田梨花 藤原真知子 河野優希 宮武夏帆 近藤海帆 日協堂医 藤野真海 のぞみ園保 藤田欣也 さぬき民芸保存会 さまぬき民芸保存会

ご支援
ありがとうございます

職員研修旅行に参加して

介護サービステーション 島本 用子

九月十日、職員研修旅行に行ってきました。毎年、ゆたか荘、デイサービスセンターゆたか、ハーティヴィラ亀鶴、のぞみ園の四事業所合同で、職員交流とリフレッシュを目的に行われており、今年も、愛媛のアサヒビール工場と、ランチに今治国際ホテルのバイキング、そしてタオル美術館に行ってきました。

アサヒビール工場では、原材料の麦やホップを実際に手にとり、味や香りを確かめることができました。ビールやノンアルコールビール、ソフトドリンクの試飲でとても盛り上がりました。

タオル美術館では展示品も多く、とても芸術的で、『これなら、普段のレクリエーションに取り入れ、作品作りができるのでは...』と何度も足を止めては、作品を確かめ、期待と創作意欲に胸が高鳴りました。皆と交流を楽しみ、リフレッシュできた上に、仕事に対する意欲もかきたえられ、最高の研修旅行でした。



編集後記

今年の夏は暑い日が続きましたが、皆様ご体調はいかがでしたでしょうか。ようやく涼しくなり、夏の疲れが出やすいこの季節、ご自身もお体ご自愛下さい。

多田 有希

ホームページ URL <http://care-net.biz/37/nagaotukushikai/>
 のぞみ園 ● さぬき市昭和10322-TEL 0879-521727 / FAX 0879-521728
 ゆたか荘 ● さぬき市昭和56214-TEL 0879-236511 / FAX 0879-236565